



すみたまニュース通信

生涯学習に関する情報コーナー 住田町教育委員会

疑似体験で「ドキッ！」

情報モラル地域フォーラム in 住田が1月16日、農林会館で開催されました。

このフォーラムは県教委が主催し、町青少年問題協議会・家庭教育学級・生徒指導連絡協議会・学校警察連絡協議会合同の研修会として開催。関係者など40人が参加しました。

フォーラムは2部で構成され、第1部では、県立総合教育センターの谷木啓恭主任研修指導主事と平賀弘典研修指導主事を講師に、実際に携帯電話を使った疑似体験が行われました。参加者はクリックしただけで不当に



有害サイトの疑似体験で携帯電話の恐さを再認識しました

金額を請求されるワンクリック詐欺などを体験。占いサイト体験では、入力した自分の名前などが目の前のスクリーンに一覧として表示されると、個人情報などが収集されていたことを目の当たりにし、驚きの声が上がっていました。

講師は、インターネットは匿名ではなく、掲示板などに誰が書き込みをしたかを特定できることや、自ら個人情報を流出しかねないプロフィールサイトなどは注意が必要なこと、一部のゲーム機はインターネットに接続できることを知らない親が多いことなどを紹介。親が子どもが何をしているのかわかり把握し、「家庭内でのルール作り」が大切と呼びかけました。

第2部では、「ケータイの問題を語り合おう」をテーマにパネルディスカッションが行われ、県警本部サイバー犯罪対策室の勝又和一室長、世中PTAの和泉三秋さん、住田高校1年の中井育美さんが、それぞれの立場から情報を交わし合いました。

賢治の世界を満喫

冬休み親子との映画会が1月6日、農林会館で開催され、町内の親子40人が名作を楽しみました。

今回上映したのは、沿岸第一ライブラリーの「銀河鉄道の夜」と「ねんくみシリーズ」の2本。「銀河鉄道の夜」は、低学年の子どもたちには少し難しかったようですが、宮沢賢治の世界に引き込まれたかのように、静かに見入っていました。

「ねんくみシリーズ」は低学年向けの作品で、笑いながら楽しんで鑑賞しました。

映画を通して親子でふれあう良い機会となったようです。



映画館並の映像と迫力の音響を楽しみました

教職員が研究の成果を発表

教育研究所研究発表大会が1月13日、農林会館で開催されました。

この大会は、町内の教職員が児童生徒の学力の実態などについて共通理解を図り、指導力と教職員としての資質の向上を図ることを目的に開催されたもので、町内の保育園・小中学校・高校から51人が参加しました。

この日は各小中学校がそれぞれの学力向上のための取り組みを発表したほか、有小・有中の個人研究発表も行われ、それぞれの発表をもとに、活発に意見を交換していました。



学力向上の取り組みを熱心に聴講

スポーツ教室のお知らせ 「スポーツチャンバラ」参加者募集

日時：3月5日（土） 9:30～12:00

場所：有住小学校 体育館

募集対象：町内に在住の小中学生

参加料：無料

講師：日野敏弘さん

申込方法：2月28日（月）までに、教育委員会・生涯学習係（TEL46-3863）または上有住地区公民館（TEL48-2013）へ電話などでお申し込みください。

【主なルール】

通常は、個人戦で行うニュースポーツですが、今回は、住田ローカルルールで「戦国殿様合戦ゲーム」とし、参加者を東軍と西軍に分けお互いの殿様を討つゲームとします。

面と防具を着用しますし、剣も布製の柔らかいものを使用しますので安全です！怖くありません！

【当日持ってきてほしいもの】

上ぐつ、タオル

■新刊図書紹介 【中央公民館図書室】

書名 著者名 内容紹介

はるをさがしに

亀岡亜希子

春になればお友だちのクマさんが目を覚ましてくれる。早くクマさんと遊びたい！そう思ったオコジヨのタツチイは「春」を探しに出かけることに。「春」は見つけられるかな？
(幼児向け)

おばけ屋のおばけかぶ

あわたのぶこ

「おばけの会社ははじめました。ふる〜いお寺にあるカビくさいビルは株式会社おばけ屋です」おばけを怖がる子どもたちが少なくなつた現代、おばけたちは自分たちで会社を作ること…。子どもたちの反応は？おばけたちのその後？
(児童向け)

雷桜

宇江佐真里

生まれて間もない庄屋の娘遊が雷雨の晩にさらわれ、手がかりもつかめぬまま十年。遊の兄二人はたくましく育ち、遊は帰還をはたすのだが…。運命に翻弄されながらも凛と生きた遊とお殿様との身分違いの恋を描く。(一般向け)

11メートルに大歓声！



「長〜いのり巻きづくり」が1月11日、下有住児童館で行われました。これは、コミュニティスクールの一環として開催されたもので、小学生とその保護者、子育てサークルピカブー会員、地域住民など約40人が参加しました。

子どもたちは一列に並べられたのりに酢飯と卵焼き、しいたけ、きゅうり、桜でんぶなどの具を丁寧にのせ、「せーの」のかけ声で一気に巻き上げました。計測の結果、長さ11メートル「長〜いのり巻き」が完成。子どもたちからは大歓声があがっていました。

お餅はお米でできるんだ！



大股地区公民館で1月16日、町内の小学生15人と地元住民約30人が、みずき団子作りなどで交流しました。これは、コミュニティスクールと大股地区教育振興運動の一環として開催されたもので、小正月にちなんだ伝統行事の体験を通して小学生と地元の住民が交流する場を設けようと開かれたものです。子どもたちは臼と杵での餅つきに挑戦した後、色鮮やかなみずき団子を作成。紺野孝さんからみずき団子の由来などを教えてもらいました。また、図書ボランティアによる木のカルタも行われました。